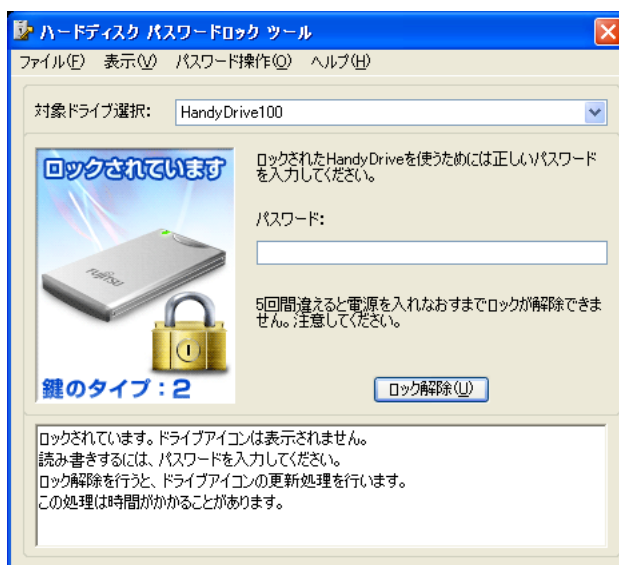


HandyDrive ハードディスク パスワードロック ツール V2.3 操作ガイド



ハードディスクパスワードロックツール V2.3 外観

製品に関する最新情報やQ&Aはホームページにも掲載されておりますので、ご利用ください。 <http://jp.fujitsu.com/hdd/>

本書の内容は改良のため予告なしに改版する場合があります。

富士通株式会社

本製品に関するお問い合わせ先 富士通ドライブサポートセンター 0120-315-188
お問合せ時間: 9:00~12:00、13:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

ハードディスク パスワードロック ツール V2.3 Copyright 2009 富士通株式会社

■ クイックスタートガイド		
初めてパスワードロックツールをお使いの方	4
すでにパスワードロックツール V1.0 をお使いの方	5
■ ご使用にあたって	6
■ 基本		
1. 概要・特長	8
2. 動作環境・注意事項	9
3. インストール	10
4. パスワードを設定する	11
重要なお知らせ 消去キーについて	12
5. パスワードによるドライブのロックを有効にする	13
6. ロックを解除し、ドライブアイコンを表示させる	15
■ 高度な使い方		
7. パスワードを変更する	17
8. パスワードを消去する	18
9. 消去キーを変更する。	19
10. パスワードの表示/非表示	20
11. 起動画面の表示/非表示	21
■ パスワードを忘れた時		
12. ディスクの消去	23
13. 消去したディスクの再フォーマット	24
■ すでにパスワードロックツール(V1.0)をお使いの方		
14. プログラムを V2.3 へバージョンアップするには	26
15. パスワードを V2.*(鍵のタイプ2)へ変更するには (消去キーの追加)	...	27
16. V1.0 と V2.*の両方をご利用になる場合の制限事項	28
■ 注意事項および制限事項		
17. 注意事項	30
18. 制限事項	31
■ お困りの場合		
19. お問い合わせ先	33
20. バージョン情報の表示	34
21. 表示されたメッセージの詳細を知るには	35
22. メッセージと対処方法の一覧を見るには	36

■ 資料編

23. 鍵のタイプとは 38
24. 画面に表示される絵の一覧と意味 39
25. こんな時は 41
- パスワードの設定。複数のパソコンでお使いの場合。
 - ・パスワードを設定したら、次に接続した時にドライブアイコンが表示されない
 - ・HandyDrive にパスワードが設定されているかどうか知るには
 - ・パスワードを設定した HandyDrive を、別なパソコンに接続した場合、データは見えますか
 - ・パスワードを設定した HandyDrive を、別のパソコンで使用するには
 - ・V1.0 のパスワードロックツールを使用している。別なパソコンにもインストールしたいが、V1.0 のダウンロード提供がない
 - ・ロックを解除する時に時間がかかる。
 - ・NTFS 形式に再フォーマットした HandyDrive に、パスワードを設定できますか
 - ・HandyDrive のボリューム名を変更しても、パスワードを使えますか
 - ・区画を設定した HandyDrive にパスワードを設定できますか
 - HandyDrive を 2 台お使いの場合
 - ・HandyDrive を 2 台使用している場合、それぞれにパスワードを設定するには
 - ・HandyDrive を 2 台使用している場合、別々のパスワードを設定できますか
 - ・HandyDrive を 2 台接続している時、一方のパスワードの解除ができない
 - ロックが解除できない。パスワードを忘れた
 - ・パスワードロックツールを起動してから、HandyDrive を接続したら表示が「ドライブが見つかりません」のままとなる
 - ・パソコンのハードディスクを交換したら、パスワードの解除ができなくなった
 - ・パスワードを忘れた場合、どうすればいいか
 - ・パスワードを忘れたが、修理に出せばパスワードを消去できますか
 - 設定の変更、パスワードの消去、ディスクの消去
 - ・使用しているパスワードロックツールのプログラムバージョンが知る方法は
 - ・V1.0 でパスワードを設定した HandyDrive を、V2.3 のパスワードロックツールで使用できますか
 - ・V2.3 でパスワードを設定した HandyDrive を、V1.0 のパスワードロックツールで使用できますか
 - ・「消去キーの追加」を実行した時、HandyDrive 内のデータは影響を受けますか
 - ・パスワードロックツールを、V2.3 から V1.0 へ戻したい。
 - ・HandyDrive の鍵のタイプを、2 から 1 に戻したい
 - ・パスワードを一旦消去した後、再度設定した場合、消去キーはどうなりますか
 - ・ディスクの消去を途中で中断あるいは中止したい
 - ・フォーマットツールの「出荷時の状態に戻す」と、パスワードロックツールの「ディスクの消去」の違いは

初めてパスワードロックツールをお使いの方

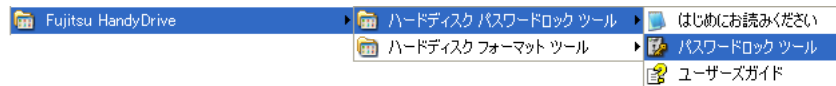
すでにパスワードロックツールV1.0をお使いの方は、[次のページへ](#)

- 動作環境 Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 Professional
- インストール

1. Administrators に属するアカウントでログイン。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックし復元します。
3. 手順 2. において作成されたフォルダに含まれる、ダブルクリックし、インストールを開始します。

■ パスワードを設定する

1. パスワード設定されていない、HandyDrive を接続します。(データが既に入っている場合でも設定できます。)
2. ハードディスク パスワードロック ツールを起動します。



3. メニューから、パスワード操作 | パスワードの設定を選択。
4. 半角英数字 32 文字以内でパスワードを入力し、OKボタンをクリック。

重要

パスワードは忘れた場合、データを取り出す方法はありません。
P12.「消去キーについて」をお読みください。

■ 操作 HandyDrive をロックする。(次に HandyDrive を接続した時に有効となります)

ハードウェアを安全な取り外しから、HandyDrive を取り外します。



(表示されるドライブレターはお使いのパソコン環境により異なります)

HandyDriveに AC アダプターが接続されている場合は、DC プラグも取り外します。

■ 操作 HandyDrive のロックを解除し読み書きできるようにする。

1. HandyDrive を接続します。

重要

ドライブアイコンは表示されません。

2. ハードディスク パスワードロック ツールを起動。
3. パスワード欄に、パスワードを入力。
(通常は、入力したパスワードは表示されません。)
4. ロック解除ボタンをクリック。
5. 「ドライブの構成が変更されました」のメッセージが表示されたら、読み書きできます。



初めてパスワードロックツールをお使いの方は、[前のページへ](#)

すでにパスワードロックツールV1.0をお使いの方

■ V2.1/V2.2/V2.3 で新しく追加された機能

万一、パスワードを忘れても、消去キーを入力する事で HandyDrive を初期状態に戻すことができます。それに伴い、V1.0 に比べ次の機能が新しく追加されました。

1. 消去キーの設定(既定値をセットします)
2. 消去キーの変更
3. ディスクの消去

■ V2.1/V2.2/V2.3 の機能を使うには

V1.0 を使ってパスワード設定/変更された HandyDrive は、メイン画面で「鍵のタイプ:1」と表示されます。この状態の時はロック解除しかできません。V2.1/V2.2/V2.3 の全ての機能を使うためには、「消去キーの追加」を実行し、「鍵のタイプ:2」に変更してください。

■ V1.0 と V2.1/V2.2/V2.3 の互換性

ご自宅と職場で異なるバージョンのツールを使う場合、使い方の組み合わせにより、一部の機能が使えない事があります。注意してください。

(1)V1.0 をお使いの場合

○:利用可能、 ×:利用不可

	ロック解除	パスワードの設定	パスワードの変更	パスワードの消去	消去キーの追加	消去キーの変更	ディスクの消去
V1.0 で作成した HandyDrive	○	○	○	○	×	×	×
V2.*で作成した HandyDrive	○	注1	注1	注1	×	×	×

注1:機能は使えますが、消去キーが残ったままの状態です。他人にデータを消去される可能性があるので使わないでください。

(2)V2.1/V2.2/V2.3 をお使いの場合

○:利用可能、 ×:利用不可

	ロック解除	パスワードの設定	パスワードの変更	パスワードの消去	消去キーの追加	消去キーの変更	ディスクの消去
V1.0 で作成した HandyDrive	○	注2	注2	注2	○	注2	注2
V2.*で作成した HandyDrive	○	○	○	○	×	○	○

注2:「消去キーの追加」を実行し、「鍵のタイプ:2」に変更すると、使えるようになります。

■ ご使用にあたって

本パッケージに含まれるソフトウェアのご使用にあたっては、下記のご使用条件をお守りください。この使用条件にご同意いただけない場合には、本ソフトウェアを利用できません。

1. 使用許諾条件

- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
- 本ソフトウェアの再配布はできません。
- 本ソフトウェアの一部または全てを弊社の許可無く変更することはできません。
- 本ソフトウェアの改造、あるいは、逆コンパイル、逆アSEMBルなどを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 本ソフトウェアに関するいかなる著作権表記も変更できません。
- 本ソフトウェアを使用した結果、損害が発生しても弊社は責任を負いません。
- 本書で説明する機能や制限事項は予告なしに変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 「ハイセイフティ」用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客さまがハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生した損害に対して、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

3. 表記について

- Microsoft、Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の記載されている会社名や製品名は各社の商標もしくは登録商標です。

■ 基本操作

基本操作では、プログラムのインストールから基本的な使い方までを説明します。

1. 概要・特長	8 w
2. 動作環境・注意事項	9
3. インストール・アンインストール	10 w
4. パスワードを設定する	11 w
5. パスワードによるドライブのロックを有効にする	12 w
6. ロックを解除し、ドライブアイコンを表示させる	13 w

1. 概要・特長

ハードディスクパスワードロックツールは、パスワードにより HandyDrive に保存したデータを不正な読み書きから守るソフトウェアです。HandyDrive の盗難や紛失時の情報漏洩を防ぐことができます。

特長

- HandyDrive のドライブアイコンをマイコンピュータに表示するにはパスワードが必要になります。
- パソコンの電源を切る、あるいは USB ケーブルを抜くだけで、ロックがかかります。
- 既にデータが入っていてもパスワードを設定／変更をすることができます。
- データに影響を与えずパスワードのない状態に戻すことができます。
- 万一、パスワードを忘れても、消去キーを入力する事で HandyDrive を初期状態に戻すことができます。

原理

ドライブにパスワード／消去キーを設定します。設定したパスワードと入力したパスワードが合致しない場合、ドライブに対する読み書きが出来なくなり、OS から記憶装置として認識できない状態になります。

V1.0 との違い

設定した消去キーを入力する事で HandyDrive のデータとパスワード／消去キーが消され、HandyDrive を初期状態に戻すことができます。

パスワードを忘れた時

V1.0 でパスワードを設定

HandyDrive は使用不可になります。

V2.1/V2.2/V2.3 でパスワードを設定

正しい消去キーを入力すれば HandyDrive のデータと

パスワードの消去が可能です。

パスワードの消去が可能です。

注意事項・制限事項 (P29.「注意事項と制限事項」を併せてお読みください。)

- ・設定したパスワードと消去キーは忘れないでください。
- ・正しいパスワードを入力しない限り、マイコンピュータ上に HandyDrive のアイコンは出てきません。
- ・パスワードが設定されていると、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 以外では読み書きが不許可状態となり、HandyDrive は使えません。

2. 動作環境・注意事項

本ソフトウェアは、以下の環境で動作します。

対象装置	富士通製 HandyDrive
対象 OS	- Microsoft® Windows Vista® Ultimate - Microsoft® Windows Vista® Enterprise - Microsoft® Windows Vista® Business - Microsoft® Windows Vista® Home Premium - Microsoft® Windows Vista® Home Basic - Microsoft® Windows® XP Home Edition - Microsoft® Windows® XP Professional - Microsoft® Windows® 2000 Professional 注)上記 OS は全て日本語版です。

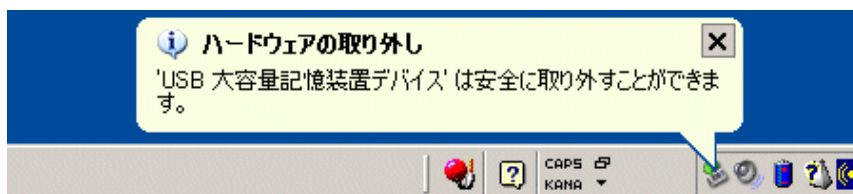
ポイント

ロック状態の HandyDrive を PC に接続しても、OS から記憶装置として認識できない状態になります。

Windows の場合

ロック状態のときはマイコンピュータにドライブアイコンが表示されません。

このような場合はタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し(S)」を実行して、PC から HandyDrive を取り外してください。



上記以外の OS (Mac OS や Linux などの場合)

ロック状態のときは、OS から記憶装置として認識できない状態になり、使うことができません。

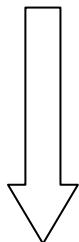
注意事項

- ・設定したパスワードと消去キーは忘れないでください。
- ・設定したパスワードを忘れた場合、ロックの解除が出来なくなります。当社でも復旧することは出来ません。
- ・パスワードは他人が連想できないなるべく長い文字列を使うようにしてください。
- ・鍵が開いた状態は他人からも読み書きができる状態です。使わない時は HandyDrive を取り外してください。
また、HandyDrive にバスパワーアシストケーブルあるいは AC アダプターを接続してお使いの場合は、これらも取り外してください。
- ・パスワードの設定／変更処理中は絶対に USB ケーブルを抜かないで下さい。
設定／変更処理中に USB ケーブルを抜いてしまうと、意図しないパスワードが設定され、二度と読み書きできなくなることがあります。
- ・消去キーの追加／変更処理中は絶対に USB ケーブルを抜かないで下さい。
消去キーの追加／変更処理中に USB ケーブルを抜いてしまうと、意図しない消去キーが設定され、ディスクの消去ができなくなることがあります。
- ・パスワードの設定をした HandyDrive を接続している時は、パソコンをスタンバイ／休止状態にはしないでください。

3. インストール

・初めてパスワードロックツールを使用される方は、このページをお読みください。

既にV1.0をお使いの方は、こちらをお読みください。



P.25「すでにパスワードロックツール V1.0をお使いの方」

(1) お使いのパソコンが 以下のいずれかであることを確認します。

Windows Vista Ultimate 日本語版
Windows Vista Enterprise 日本語版
Windows Vista Business 日本語版
Windows Vista Home Premium 日本語版
Windows Vista Home Basic 日本語版
Windows XP Professional 日本語版
Windows XP Home Edition 日本語版
Windows 2000 Professional 日本語版

? お使いのパソコンの Windows の種類を見るには
コントロールパネルのシステムをクリックします。

(2) 管理者権限でパソコンにログインします

? 管理者権限とは
ローカル Administrators グループのメンバとして、ログインしたユーザーに付与される権限。最大の既定のアクセス許可を持ち、自身のアクセス許可を変更することができます。
プログラムのインストールやアンインストールなどコンピュータのメンテナンスが出来る権限を持ちます。

? 自分に管理者権限があるかどうか知るには
コントロールパネルのユーザーアカウント(またはユーザーとパスワード)を開き、ログインしたアカウントの「ユーザー」タグをクリックし、『ユーザー名』と『グループ』を確認します。

(3) パスワードロックツールをダウンロードします。

ダウンロード方法は、ダウンロードページをご覧ください。

(4) ダウンロードしたファイルは圧縮されています。

ダウンロードページに掲載の手順に従い、復元します。

(5) 復元したファイルの中の SETUP をダブルクリックします。

! インストールを完了しただけでは、パスワードは設定されません。
引き続き、P11「4. パスワードを設定する」を実行してください。

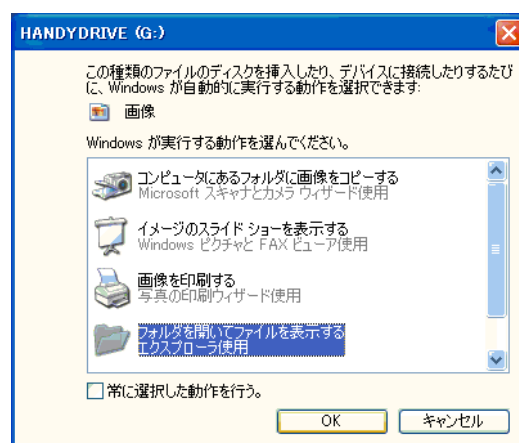
4. パスワードを設定する

- ・ データが入っている状態でもパスワードを設定できます。
- ・ パスワードを設定してもHandyDrive内のデータは影響を受けません。
- ・ パスワードは忘れないでください。

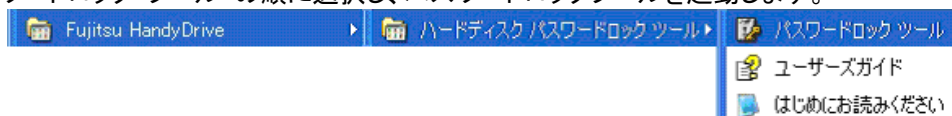
(1) HandyDrive をパソコンに接続します。

！ HandyDrive は1台だけ接続してください。

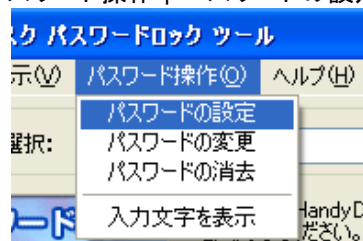
Windows Vista/XP をお使いの場合、自動的に実行する動作の選択画面が表示された場合は、キャンセルボタンをクリックします。



(2) スタート | プログラム | Fujitsu HandyDrive | ハードディスク パスワードロック ツール | パスワードロック ツール の順に選択し、パスワードロックツールを起動します。



(3) メニューから パスワード操作 | パスワードの設定 を選択します。



(4) パスワードの設定ダイアログの画面に従い、新しいパスワードを設定します。

(5) 最後に HandyDrive の USB ケーブルを抜きます。

これで HandyDrive はパスワードが設定され、ロックされた状態となります。

次ページの**重要なお知らせ**をお読みください。

重要なお知らせ

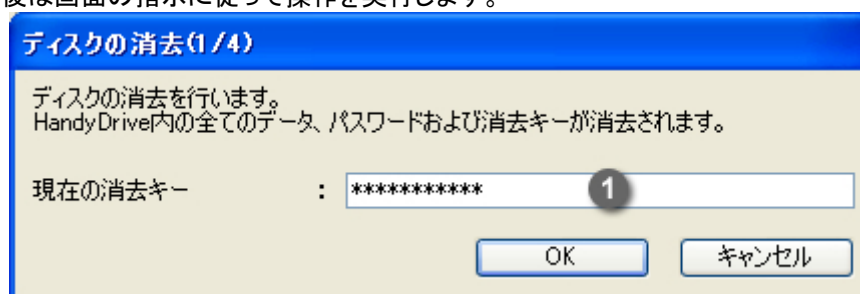
消去キーについて

パスワードロックツール V2.3 には、パスワードを忘れた場合に、HandyDrive 内の全データを消去の上、パスワードを消去する機能があります。

この機能を実行するには、消去キーと呼ぶ暗証文字列が必要になります。

消去キーを使用する場合の手順 以下は説明用の例です。**試しには実行しないでください。**

- (1) パスワードロック ツールの「ヘルプ(H)」メニューから、「ディスクの消去」をクリック。
- (2) 「ディスクの消去(1/4)」画面の「現在の消去キー」に現在設定されている消去キーを入力し、その後は画面の指示に従って操作を実行します。



■ 消去キーが既定値の場合

「現在の消去キー」に「ERASE-HANDY」と入力します。

■ 既定値以外

「現在の消去キー」に 変更した消去キーを入力します。

- 消去キーに使用する暗証文字列は、パスワード設定時に、自動的に設定されます。

自動的に設定される消去キーの暗証文字列は全製品で同じです。

詳細は、ハードディスク パスワードロック ツールをインストール後に、作成されるユーザーズガイドの「使い方」を、お読みください。ユーザーズガイドは、ハードディスク パスワードロック ツールのヘルプメニューからも表示できます。

- 消去キーに使用する暗証文字列は、変更できます。

消去キーを変更するかどうかは、以下の比較表をご覧になり判断ください。

	利点	欠点
消去キーは変更しない	パスワードを忘れた場合でも、データは失われますが、本製品を購入時の状態に戻し、再利用できます。	他の人が悪意をもって、データを全て消去することができます。
消去キーを変更する	他の人が悪意をもってデータを消去される危険から防ぐことができます。	パスワードおよび消去キーの両方を忘れた場合、本製品の再利用はできません。

本製品に関するお問い合わせ先 富士通ドライブサポートセンター 0120-315-188
お問合せ時間: 9:00~12:00、13:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

ハードディスク パスワードロック ツール V2.3 Copyright 2009 富士通株式会社

5. パスワードによるドライブのロックを有効にする

ロックとは : HandyDrive が読み書きできない状態を意味します。
ロックした HandyDrive を読み書き状態にするにはパスワードが必要になります。

- ロック状態にするためには、パスワードロックツールは必要ありません。
- HandyDrive をパソコンから取り外すだけで、自動的にロック状態になります。

手順

(1) HandyDrive 内のデータを使用しているアプリケーションソフトを全て終了します。
エクスプローラを使用時は、エクスプローラを終了します。
Microsoft Excel を使用していた場合は、シートを閉じただけでなく Excel も終了します。

(2) タスクトレイの取り外しアイコンを左クリックします。



(3) 表示された取り外し可能なデバイスの中から、HandyDrive に相当するデバイスの行をクリック。

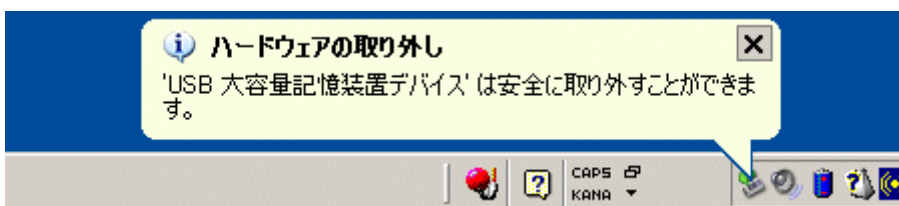


「デバイス」とは、PCに接続されている記憶装置を意味します。お使いのPCによっては外に接続した記憶装置だけでなく、PCに内蔵のCD/DVDドライブなども表示される場合があります。

上の図は接続されているデバイスがHandyDrive 1台だけの場合です。

複数のデバイスが表示された時は、ドライブ名を手がかりに行をクリックします。

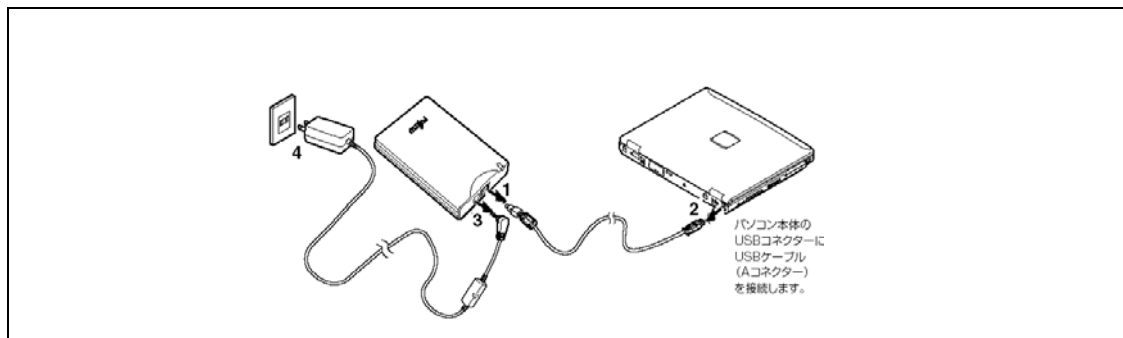
(4) 図のような「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、HandyDrive の USB ケーブルを取り外します。



(5) HandyDrive にバスパワーアシストケーブル、あるいは AC アダプターを接続している場合は、これらも取り外します。

HandyDrive に AC アダプターを接続している場合

続いて AC アダプターの DC プラグを抜きます。

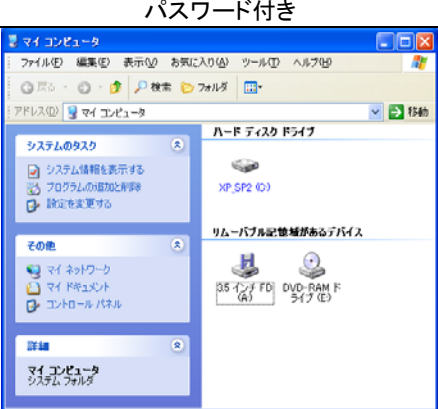
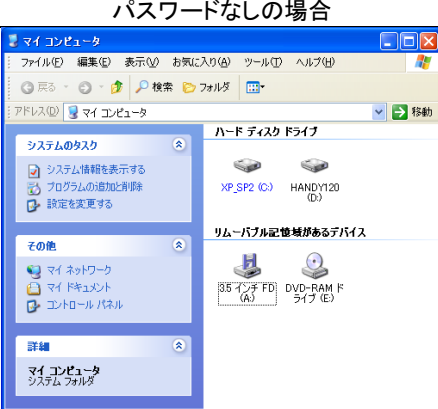
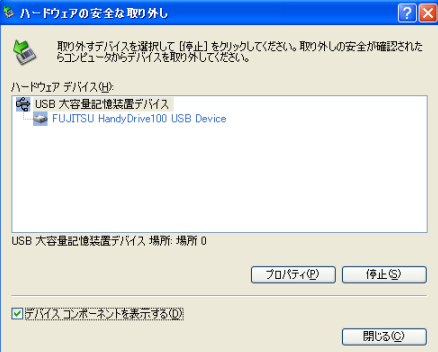
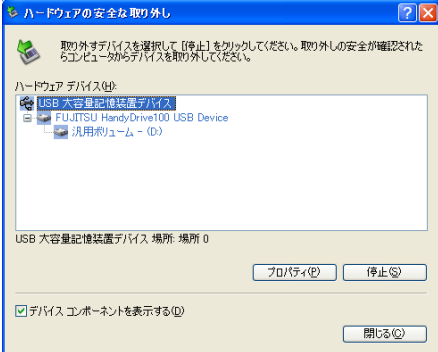


HandyDrive にバスパワーアシストケーブルを接続している場合

HandyDrive にバスパワーアシストケーブルを接続している場合には、バスパワーアシストケーブルの DC プラグを抜きます。

6. ロックを解除し、アイコンを表示させる

パスワードを設定すると、パソコンに接続してもドライブアイコンが表示されません。

	パスワード付き	パスワードなしの場合
マイコンピュータ内のアイコン		
ハードウェアの安全な取り外し		

ロック解除 手順

- (1) パスワードロックツールをインストールしたパソコンに HandyDrive を接続します。
- (2) パスワードロックツールを起動します。
- (3) パスワード欄にパスワードを入力し、ロック解除ボタンをクリック。

！ パスワード欄に入力したパスワード文字は * に置き換えて表示されます。

？ パスワード欄に入力したパスワード文字を見るには
 メニュー パスワード操作 | 入力文字を表示 を選択します。
 この設定は、記憶されません。次に起動した時は、また * 表示になります。

！ パスワードを間違えたら
 5回間違えると、それ以降 HandyDrive を一度取り外さないと、
 ロック解除はできません。
 (バスパワーアシストケーブル、あるいは AC アダプターをお使いの場合は
 これらも取り外す必要があります。)

！ 「ドライブの構成が変更されました」と表示されますが、異常ではありません。

！ 「読み書きできます」表示までに時間がかかる。
 ファイルが多い場合は、ファイル名を読み込むために時間がかかる場合があります。

■ 高度な使い方

高度な使い方では、設定したパスワードの変更や、便利な使い方について記載しています。

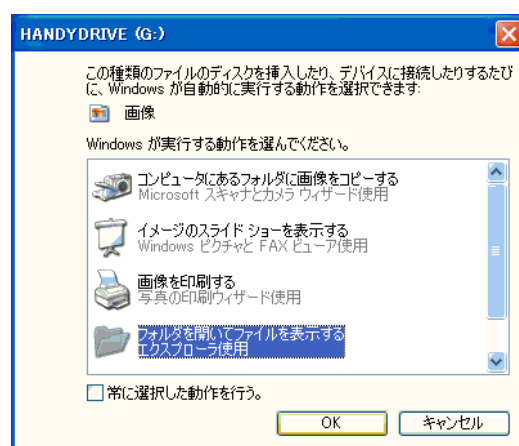
7. パスワードを変更する	17
8. パスワードを消去する	18
9. 消去キーを変更する(消去キーに使用可能な文字)	19
10. パスワードの表示/非表示	20
11. 起動画面の表示/非表示	21

7. パスワードを変更する。

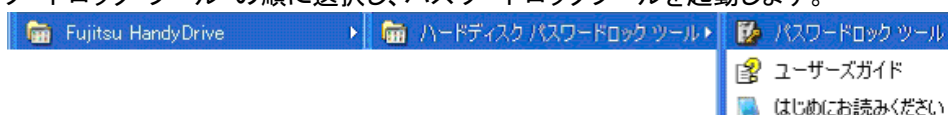
- ・データが入っている状態でもパスワードを変更できます。
- ・パスワードを変更してもHandyDrive内のデータは影響を受けません。
- ・変更したパスワードは忘れないでください。

(1) HandyDrive をパソコンに接続します。

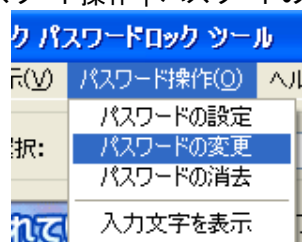
- ！ HandyDrive は1台だけ接続してください。
- ！ Windows Vista あるいは Windows XP のパソコンでは、自動的に実行する動作の以下のような選択画面が表示される場合があります。この場合は、キャンセルボタンをクリックします。



(2) スタート | プログラム | Fujitsu HandyDrive | ハードディスク パスワードロック ツール | パスワードロック ツール の順に選択し、パスワードロックツールを起動します。



(3) メニューを、パスワード操作 | パスワードの変更 の順に選択します。



(4) パスワードの変更ダイアログの画面に従い、新しいパスワードを設定します。

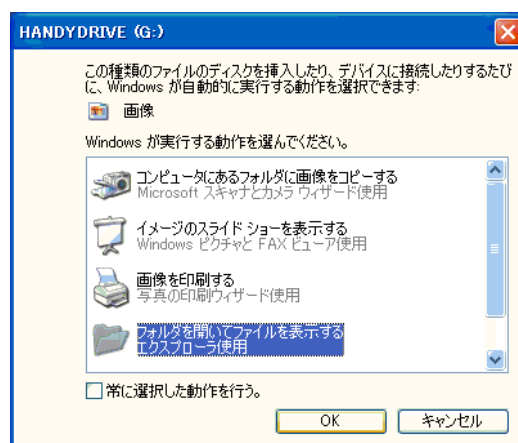
8. パスワードを消去する

- ・データが入っている状態でもパスワードを消去できます。
- ・パスワードを消去してもHandyDrive内のデータは影響を受けません。

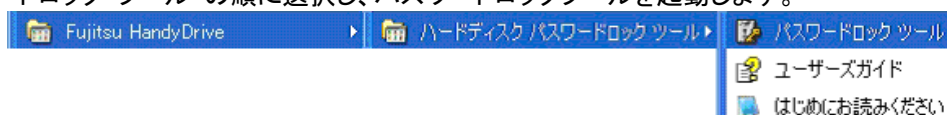
(1) HandyDrive をパソコンに接続します。

！ HandyDrive は1台だけ接続してください。

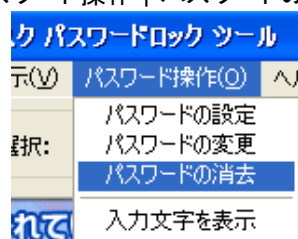
！ Windows Vista あるいは Windows XP のパソコンでは、自動的に実行する動作の以下のような選択画面が表示される場合があります。この場合は、キャンセルボタンをクリックします。



(2) スタート | プログラム | Fujitsu HandyDrive | ハードディスク パスワードロック ツール | パスワードロック ツール の順に選択し、パスワードロックツールを起動します。



(3) メニューを、パスワード操作 | パスワードの消去 の順に選択します。



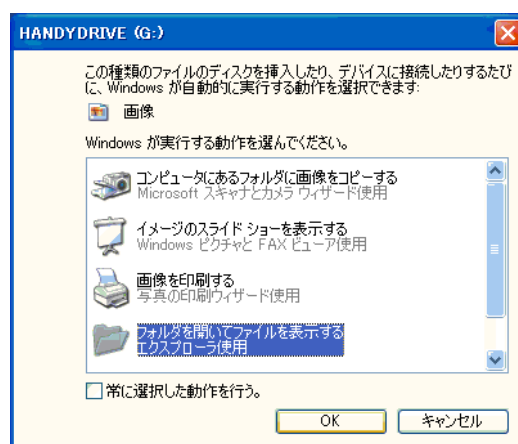
(4) パスワードの消去ダイアログの画面に従い、パスワードを消去します。

9. 消去キーを変更する

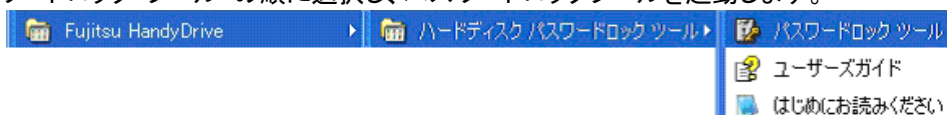
- ・データが入っている状態でも消去キーを変更できます。
- ・消去キーを変更してもHandyDrive内のデータは影響を受けません。
- ・変更した消去キーは忘れないでください。w

(1) HandyDrive をパソコンに接続します。

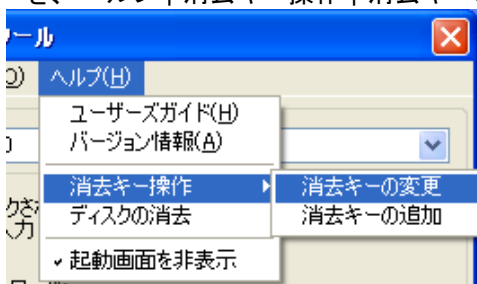
- ！ HandyDrive は1台だけ接続してください。
- ！ Windows Vista あるいは Windows XP のパソコンでは、自動的に実行する動作の以下のような選択画面が表示される場合があります。この場合は、キャンセルボタンをクリックします



(2) スタート | プログラム | Fujitsu HandyDrive | ハードディスク パスワードロック ツール | パスワードロック ツール の順に選択し、パスワードロックツールを起動します。



(3) メニューを、ヘルプ | 消去キー操作 | 消去キーの変更 の順に選択します。



(4) 消去キーの変更ダイアログの画面に従い、消去キーを変更します。

10. パスワードの表示/非表示

(1) メニュー パスワード操作 | 入力文字を表示をクリック。

この機能で入力文字を表示/非表示に出来るのは以下の場合です。

メイン画面	ロック解除時のパスワード入力
パスワード変更(1/2)	現在のパスワード
パスワード消去(1/2)	現在のパスワード
パスワード消去(2/2)	現在のパスワード
消去キーの追加(1/2)	現在のパスワード
ディスクの消去(1/4)	現在の消去キー

(2) 入力文字の状態

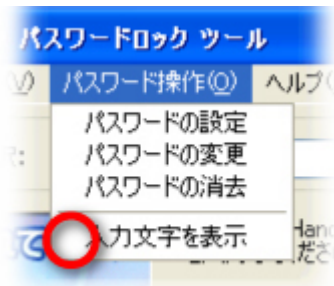
入力文字の表示/非表示の状態は「パスワード操作(O)」メニューから「入力文字を表示」をクリックすることで確認できます。

入力文字が非表示の状態です。

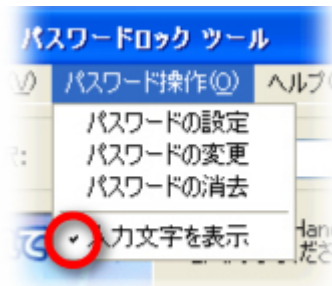
入力したパスワード文字が“*”で表示されます。

入力文字が表示の状態です。

入力した文字がそのまま表示されます。



パスワード:



パスワード:

FUJITSU

11. 起動画面の表示／非表示

プログラム起動時に表示されるスプラッシュ画面の表示/非表示を切り替えることができます。

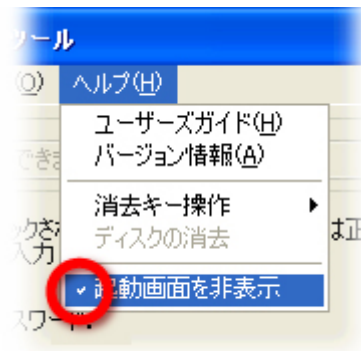
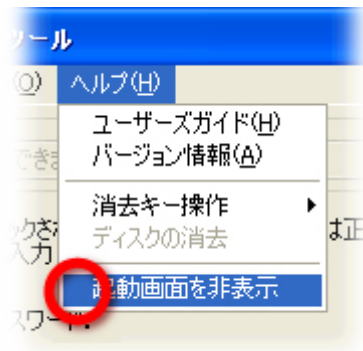
(1) メニュー ヘルプ | 起動画面を非表示をクリック。

(2) 起動画面の状態

起動画面の表示／非表示の状態は「ヘルプ(H)」メニューから「起動画面を非表示」をクリックすることで確認できます。

起動画面が表示されます。

起動画面が表示されません。



■ パスワードを忘れた時

12. ディスクの消去	23
13. 消去したディスクのフォーマット	24

- 設定したパスワードを忘れてしまった場合、保存したデータを読み出す方法はありません。
- HandyDrive 自体は、「ディスクの消去機能」を使用することにより、購入時の、データもパスワードも無い状態に戻すことができます。
- ディスクの消去機能を利用できるのは、以下の場合はです。
 - V2.1/V2.2/V2.3 でパスワードを設定。
 - V1.0 でパスワードを設定し、V2.1/V2.2/V2.3 で消去キーの追加を実施済(15章)。

！重要

ディスクの消去を実行すると本製品内のデータは全て消去されます。
パスワードを完全に忘却した場合にのみ使用してください。

12. ディスクの消去

設定したパスワードを忘れてしまった場合、鍵の解除(HandyDrive への読み書き)が出来なくなります。当社でも復旧することは出来ません。

しかし、本製品が次の場合は消去キーを使用することにより、本製品内のデータを全て消去の上、購入時のパスワードの無い状態に戻すことができます。

- V2.1/V2.2/V2.3 でパスワードを設定。
- V1.0 でパスワードを設定し、V2.1/V2.2/V2.3 で消去キーの追加を実施済(15章)。

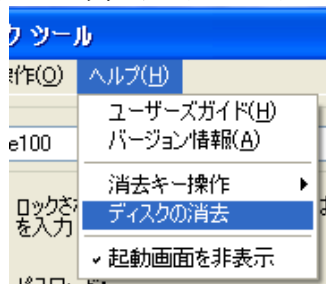
！重要

消去を実行すると本製品内のデータは全て消去されます。
パスワードを完全に忘却した場合にのみ使用してください。

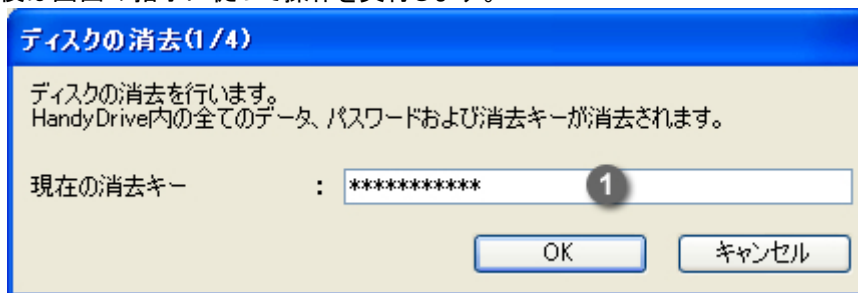
ディスクの消去を実行するには、消去キーと呼ぶ暗証文字列が必要になります。

手順

(1) パスワードロック ツールの「ヘルプ(H)」メニューから、「ディスクの消去」をクリック。



(2) 「ディスクの消去(1/4)」画面の「現在の消去キー」に現在設定されている消去キーを入力し、その後は画面の指示に従って操作を実行します。



■ 消去キーが既定値の場合

「現在の消去キー」に「ERASE-HANDY」と入力します。

■ 既定値以外

「現在の消去キー」に 変更した消去キーを入力します。

- ・ この処理は完了までに2時間以上かかります。
- ・ HandyDrive をノートパソコンに接続しお使いの場合は、途中でパソコンの電池が切れることを避けるため、ノートパソコンに AC アダプターを接続し、実行してください。

13. 消去したディスクの再フォーマット

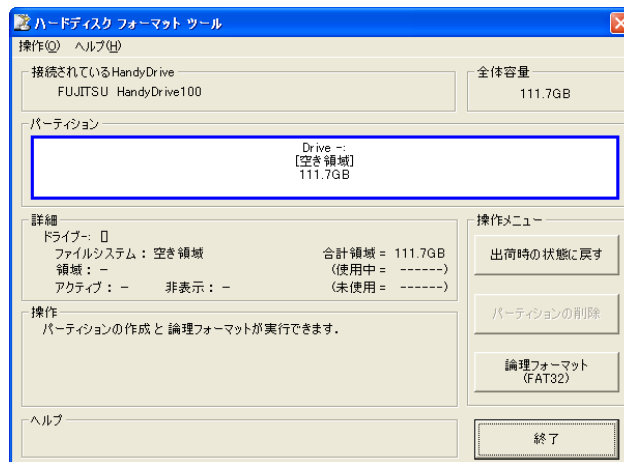
ディスクの消去に成功すると状態表示エリアが下のようになります。



この時 HandyDrive は未フォーマット状態のため、ドライブアイコンが表示されません。HandyDrive を利用するためには、フォーマットが必要です。

フォーマットには、ダウンロード提供しております「ハードディスク フォーマットツール」を使用します。

「ハードディスク フォーマットツール」は、パスワードロックツールをダウンロードしたウェブサイトからダウンロードすることができます。



購入時の状態に戻すには、ハードディスク フォーマットツールの「出荷時の状態に戻す」機能を使用します。

操作手順の詳細は、ハードディスク フォーマット ツールに付属の説明書をお読みください。

■ すでにパスワードロックツール V1.0 をお使いの方

この章では、すでに以前のバージョン(V1.0)をお使いの方が、新しいバージョン(V2.1以降)をお使いになるための手順や注意事項について記載しています。

- 14. プログラムを V2.1 以降へアップデートするには 26
- 15. パスワードを V2.1 以降(鍵のタイプ2)へ変更するには(消去キーの追加)27
- 16. V1.0 と V2.1 以降の両方ご利用になる場合の制限事項(別PCで運用の場合) 28

14. プログラムを V2.1 以降へバージョンアップするには

プログラムを V2.1 以降にアップグレードすると、万一パスワードを忘れても、消去キーを入力する事で HandyDrive を初期状態(注 1)に戻すことができます。

注1

ディスクの消去状態とは、お客様が保存したデータが全て消去され、かつパスワードが設定されていない状態です。その後、再度お使いになるには、ダウンロード提供しています、「ハードディスク フォーマット ツール」を使用し、HandyDrive を初期化する必要があります。

バージョンアップの手順

- (1) HandyDrive が接続されていないことを確認します。
- (2) 「プログラムの追加と削除」から、V1.0 をアンインストールします。

アンインストールは、Windows のコントロールパネルにある「プログラムの追加と削除」を使用して行います。

- (3) V2.1 以降のバージョンをインストールします。

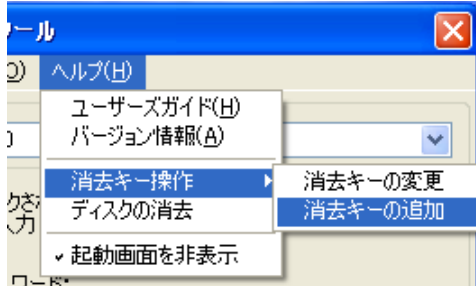
V1.0 でパスワードを設定した HandyDrive に対し、V2.1 以降の新しい機能が利用できるようにするためには、引き続き、次頁の「消去キーの追加」を行ってください。

15. パスワードを V2.1 以降(鍵のタイプ2)へ変更するには(消去キーの追加)

消去キーを追加できるのは、鍵のタイプ1と表示される HandyDrive です。
鍵のタイプについては、P38 「23. 鍵のタイプとは」をご覧ください。

消去キーの追加手順

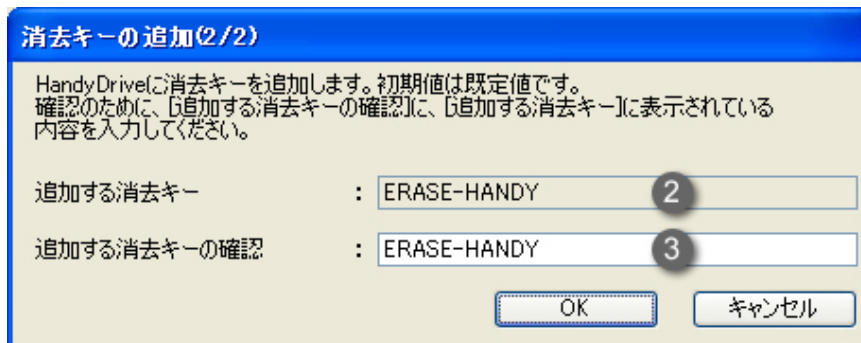
(1) ツールの「ヘルプ(H)」メニューから、「消去キー操作」の「消去キーの追加」をクリック。



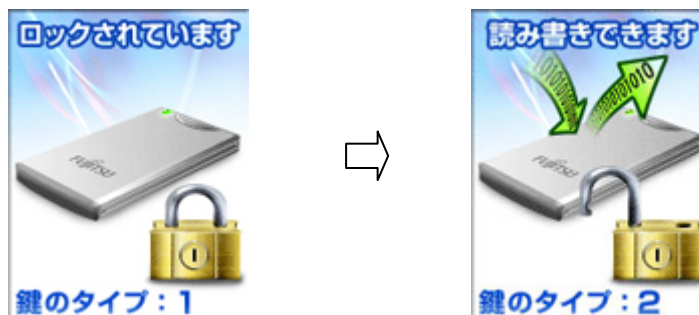
(2) 「消去キーの追加(1/2)」画面の「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック。

(3) 「消去キーの追加(2/2)」画面の「追加する消去キー」は既定値の「ERASE-HANDY」が入力しており、変更は出来ません。

「消去キーの追加(2/2)」画面の「追加する消去キーの確認」に「追加する消去キー」に表示されている文字列を入力し、「OK」ボタンをクリック。



(4) 消去キーの追加が完了後、HandyDrive の鍵のタイプが 2 になります。



消去キーを変更する場合は、P19 「9. 消去キーを変更する」をお読みください。

16. V1.0 と V2.1 以降の両方をご利用になる場合の制限事項

パスワードロック ツール V2.1 以降でパスワード設定した HandyDrive は、V1.0 ではロック解除以外の操作はしないでください。

異なるバージョンをご利用になる場合の、制限事項の詳細については、P5「すでにパスワードロックツール V1.0 をお使いの方」をお読みください。

■ 注意事項および制限事項

この章では、お使いになる上で注意していただきたい事項、および制限事項について記載しています。

17. 注意事項	30
18. 制限事項	31 w

17. 注意事項

1. 設定したパスワードと消去キーは忘れないでください。
2. 設定したパスワードを忘れた場合、ロックの解除が出来なくなります。
当社でも復旧することは出来ません。w
3. パスワードは他人が連想できない、なるべく長い文字列を使うようにしてください。
4. 鍵が開いた状態は他人からも読み書きができる状態です。
使わない時は HandyDrive を取り外しロック状態としてください。
HandyDrive にバスパワーアシストケーブルあるいは AC アダプターを接続してお使いの場合は、
ロック状態にするためには、これらも取り外す必要があります。
5. パスワードの設定／変更処理中は、絶対に USB ケーブルを抜かないで下さい。
USB ケーブルを抜いてしまうと、意図しないパスワードが設定され、二度と読み書きできなくなる
ことがあります。
6. 消去キーの追加／変更処理中は、絶対に USB ケーブルを抜かないで下さい。
USB ケーブルを抜いてしまうと、意図しない消去キーが設定され、ディスクの消去ができなくなる
ことがあります。
7. パスワードを設定した HandyDrive を接続している時は、パソコンを省電力モードにしないで
ください。省電力モードとは以下の状態です。
スタンバイ／スリープ／休止状態
8. パスワードロック ツール V2.1/V2.2/V2.3 でパスワードを設定した HnadyDrive は、V1.0 では
ロック解除以外の操作はしないでください。

18. 制限事項

- パスワードロック ツールにおいて次の処理を行っているときは、以下の操作をしないでください。

パスワード入力	消去キーの追加
パスワードの設定	消去キーの変更
パスワードの変更	
パスワードの消去	

禁止操作

- HandyDrive の取り外しや他の USB 装置の接続／取り外し。
 - HandyDrive 上のファイルの読み書き。
 - Windows の終了またはログオフ／ユーザー切り替えの実行。
- ロック状態の HandyDrive と下記アプリケーションとの併用はできません。
 - シマンテック社「Norton GoBack™」の一部の製品。
 - システム復旧ソフトに代表されるハードディスクを監視するソフト。

■ お困りの場合

操作などについてお困りの場合に、参考となる情報を記載しております。

19. お問い合わせ先	33
20. ソフトのバージョン情報表示	34
21. 表示されたメッセージの詳細を知るには	35
22. メッセージと対処方法の一覧を見るには	36

19. お問い合わせ先

問題が解決しない場合は、富士通ドライブサポートセンターまでご連絡ください。

富士通ドライブサポートセンター
0120-315-188 お問い合わせ時間 9:00～12:00、13:00～17:00
(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
E メールアドレス handydrive@np.css.fujitsu.com

お問い合わせの際には、ご使用の製品の型名、パソコン環境、画面に表示されたメッセージとメッセージ番号等
をご連絡ください。

20. バージョン情報の表示

ハードディスク パスワードロック ツールのバージョン情報は以下の方法で表示します。

(1) 「ヘルプ(H)」メニューから、「バージョン情報(A)」をクリックしてください。



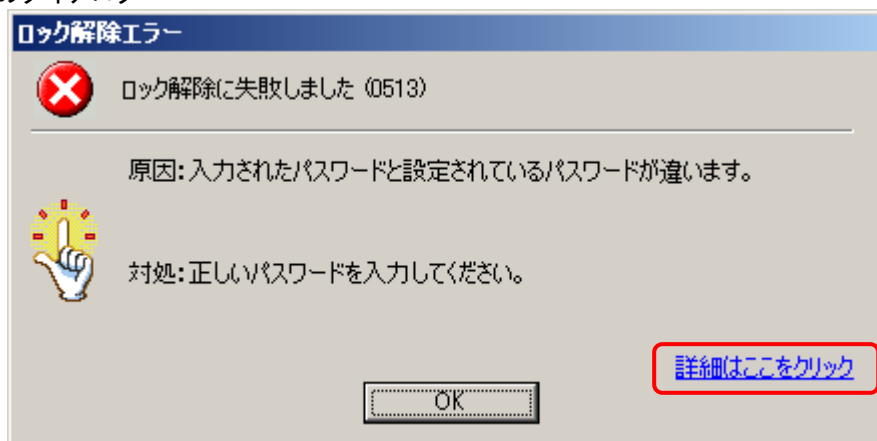
(2) 表示されたダイアログのバージョン情報を確認します。



21. 表示されたメッセージの詳細を知るには

エラーダイアログの右下部の「詳細はここをクリック」をクリックすると、ヘルプ内の該当エラーの解説が表示されます。

サンプルのダイアログ



注意

スタートメニューからヘルプを単独で起動している時に、エラーメッセージの「詳細はここをクリック」をクリックすると、前に表示されていたヘルプに新しいヘルプが重なって表示されます。メインダイアログの「ヘルプ」|「ユーザーズガイド」からヘルプを起動した時は、この現象は生じません。

22. メッセージと対処方法の一覧を見るには

メッセージと対処方法の一覧は、ハードディスク パスワードロック ツールをインストールしたときに作成される、「ユーザーズガイド」、またはプログラムのヘルプメニューから見ることができます。

ヘルプからの一覧表示の例

The screenshot shows the 'Hard Disk Password Lock Tool' help window. The left pane contains a tree view with the following items:

- はじめに
- 画面の説明
- 使い方
- 注意事項および制限事項
- メッセージと対処方法
 - 1. パスワードロック ツール起動時の
 - 2. パスワード設定時のメッセージ
 - 3. パスワード変更時のメッセージ
 - 4. パスワード消去時のメッセージ
 - 5. ロック解除時のメッセージ
 - 6. 消去キー変更時のメッセージ
 - 7. 消去キー追加時のメッセージ
 - 8. ディスク消去時のメッセージ
 - 9. その他のメッセージ
- お困りの場合
- ご使用にあたって

The right pane displays the selected message, 'ロック解除に失敗しました (0502)', with the following details:

説明	対処方法
HandyDriveにパスワードが設定されていません。	ロック解除が出来るのは、パスワードロックツールでパスワード設定をしたHandyDriveのみです。

Below this, other error messages are listed:

- ロック解除に失敗しました (0503)**

説明	対処方法
ロック解除に5回失敗している状態です。	5回失敗すると操作が出来ない状態です。復旧するには、USBケーブルを挿し直してください。
- ロック解除に失敗しました (0504)**

説明	対処方法
ロックは既に解除されています。	既にロック解除されているHandyDriveをロック解除することは出来ません。
- ロック解除に失敗しました (0505)**

説明	対処方法
パスワードロック ツール以外のソフトでパスワードが設定されています。	このツールでは使用できません。パスワードを設定したソフトをお使いください。
- ロック解除に失敗しました (0506)**

説明	対処方法
サポートできないドライブです。	このツールでは使用できません。

■ 資料編

この章ではお使いになる上での疑問点、使い方の詳細について記載しています。

23. 鍵のタイプとは	38
24. 画面に表示される絵の一覧と意味	39
25. こんな時は	41

■ パスワードの設定. 複数のパソコンでお使いの場合.

- パスワードを設定したら、次に接続した時にドライブアイコンが表示されない。
- HandyDrive にパスワードが設定されているかどうかを知るには。
- パスワードを設定した HandyDrive を、別なパソコンに接続した場合、データは見えますか。
- パスワードを設定した HandyDrive を、別のパソコンで使用するには。
- V1.0 のパスワードロックツールを使用している。別なパソコンにもインストールしたいが、V1.0 のダウンロードが見つからない。
- パスワードを設定した HandyDrive を、Windows 98SE、Windows Me のパソコン、あるいは Macintosh で使えますか。
- ロックを解除する時に時間がかかる。
- NTFS 形式に再フォーマットした HandyDrive に、パスワードを設定できますか。
- HandyDrive のボリューム名を変更しても、パスワードを使えますか。
- 区画を設定した HandyDrive にパスワードを設定できますか。

■ HandyDrive を 2 台お使いの場合

- HandyDrive を 2 台使用している場合、それぞれにパスワードを設定するには。
- HandyDrive を 2 台使用している場合、別々のパスワードを設定できますか。
- HandyDrive を 2 台接続している時、一方のパスワードの解除ができない。

■ ロックが解除できない. パスワードを忘れた.

- パスワードロックツールを起動してから、HandyDrive を接続したら表示が「ドライブが見つかりません」のままとなる。w
- パソコンのハードディスクを交換したら、パスワードの解除ができなくなった。
- パスワードを忘れた場合、どうすればいいか。
- パスワードを忘れたが、修理に出せばパスワードを消去できますか。

■ 設定の変更. パスワードの消去. ディスクの消去.

- 使用しているパスワードロックツールのプログラムバージョンが知る方法は。
- V1.0 でパスワードを設定した HandyDrive を、V2.3 のパスワードロックツールで使用できますか。
- V2.3 でパスワードを設定した HandyDrive を、V1.0 のパスワードロックツールで使用できますか。
- 「消去キーの追加」を実行した時、HandyDrive 内のデータは影響を受けますか。
- パスワードロックツールを、V2.3 から V1.0 へ戻したい。
- HandyDrive の鍵のタイプを、2 から 1 に戻したい。
- パスワードを一旦消去した後、再度設定した場合、消去キーはどうなりますか。
- ディスクの消去を途中で中断あるいは中止したい。
- フォーマットツールの「出荷時の状態に戻す」と、パスワードロックツールの「ディスクの消去」の違いは。

23. 鍵のタイプとは

ディスクの状態を表す絵の下部に、鍵のタイプが表示されます。

鍵のタイプは、2種類あります。

鍵のタイプはパスワードを設定したときの、ツールのバージョンの違いを表しています。

鍵のタイプが異なると操作できる機能が異なります。

鍵のタイプ:1	鍵のタイプ:2
	
<p>この HandyDrive は《パスワードロック ツール V1.0》でパスワードの設定が行われています。この状態のときは、「ディスクの消去」機能は使用できません。</p>	<p>この HandyDrive は《パスワードロック ツール V2.3》でパスワード設定が行われています。この状態のときは、「ディスクの消去」機能が使用できます。</p>



鍵のタイプが「不明」となる場合は、他のソフトで操作された HandyDrive です。このツールでは使用できません。




注意！

「鍵のタイプ:2」に変更した HandyDrive は、パスワードロック ツール V1.0 ではロック解除以外の操作はしないでください。

24. 画面に表示される絵の一覧と意味

ツールのディスク状態画面に表示される絵と、その状態について説明します。

表示	説明
	<p>HandyDrive が接続されていないか、認識できません。</p> <p>「認識させるには」 HandyDrive の接続を確認して、「表示(V)」メニューから「最新の情報に更新」を実行してください。それでも認識しない場合は再度プログラムを起動してください。</p>
	<p>パスワードが設定されていません。誰でも読み書きできる状態です。</p> <p>データを保護するためにパスワードを設定することができます。</p>
	<p>ロックされています。読み書きするには、パスワードを入力してください。</p> <p>「鍵の説明」 タイプ:1 この HandyDrive は《パスワードロック ツール V1.0》でパスワードの設定が行われています。「ディスクの消去」機能は使用できません。</p> <p>タイプ:2 この HandyDrive は《パスワードロック ツールV2.3》でパスワード設定が行われています。「ディスクの消去」機能が使用できます。</p>

	<p>ロックが解除され、読み書きできる状態です。</p> <p>「鍵の説明」 タイプ:1 この HandyDrive は《パスワードロック ツール V1.0》でパスワードの設定が行われています。「ディスクの消去」機能は使用できません。</p> <p>タイプ:2 この HandyDrive は《パスワードロック ツール V2.3》でパスワード設定が行われています。「ディスクの消去」機能が使用できます。</p>
	<p>サポートできないドライブです。</p> <p>このツールでは使用できません。</p>
	<p>パスワードロック ツール以外のソフトでパスワードが設定されています。</p> <p>このツールでは使用できません。</p>

25. こんな時は

■パスワードの設定. 複数のパソコンでお使いの場合.

- パスワードを設定したら、次に接続した時にドライブアイコンが表示されない。
アイコンが表示されないのが、正しい動作です。
アイコンを表示するためには、パスワードロックツールを起動し、正しいパスワードを入力してください。
詳細は、P.15「ロックを解除する」をお読みください。
- HandyDrive にパスワードが設定されているかどうか知るには。
パスワードロックツールがインストールされていないパソコンの場合。
調べたい HandyDrive だけをパソコンに接続し、タスクトレイの安全なとり外しを実行します。
ドライブ名が表示されない、USB 大容量記憶装置デバイスがある場合はパスワードが設定されている可能性があります。

パスワードロックツールをインストールされているパソコンの場合。

調べたい HandyDrive だけをパソコンに接続し、パスワードロックツールを起動します。
状態表示エリアに閉じた鍵が表示された場合は、パスワードが設定されています。
詳細は、P.39「画面に表示される絵の一覧と意味」をお読みください。

- パスワードを設定した HandyDrive を、別なパソコンに接続した場合、データは見えますか。
見えません。ドライブアイコンも表示されません。 w
- パスワードを設定した HandyDrive を、別のパソコンで使用するには。
お使いになるパソコンに、パスワードロックツールをインストールしてください。
HandyDrive に設定したパスワードは、別のパソコンでも、そのままお使いになれます。
複数のパソコンでパスワードロックツールをお使いになる場合、
パスワードロックツールのバージョンは同じにすることをおすすめします。 w
- V1.0 のパスワードロックツールを使用しているが、別なパソコンにもインストールしようとしたが、
V1.0 のダウンロードが見つからない。
V1.0 の提供は終了いたしました。V2.3をお使いください。
V2.3 をインストールした場合でも、V1.0 で設定した HandyDrive のロックの解除はできます。
- パスワードを設定した HandyDrive を、Windows 98SE、Windows Me のパソコン、あるいは
Macintosh で使えますか
お使いになれません。

- ロックを解除する時に時間がかかる。
ロック解除によりドライブ名が追加されるため、お使いのパソコンによっては、処理に時間がかかる場合があります。
また、エクスプローラなどファイルを操作するソフトが起動済みの場合、ドライブ内のファイル一覧取得動作が行われるため、長い時間がかかる場合があります。
- NTFS 形式に再フォーマットした HandyDrive に、パスワードを設定できますか。
設定できます。
尚、パスワード設定後に再フォーマット行う場合は、一度パスワードを消去してから再フォーマット操作を行うことをおすすめします。 w
- HandyDrive のボリューム名を変更しても、パスワードを使えますか。
お使いになれます。
但し、「ドライブ選択エリア」にボリューム名は表示されませんので、2 台以上の HandyDrive を接続している時、ドライブの区別にボリューム名を使用することはできません。
- 区画を設定した HandyDrive にパスワードを設定できますか。
設定できます。
パスワードの設定を行うことにより、HandyDrive 全体を 1 つのパスワードで保護します。
区画ごとにパスワードを設定することはできません。

■ HandyDrive を 2 台お使いの場合

- HandyDrive を 2 台使用している場合、それぞれにパスワードを設定するには。
1 台ずつ接続し、パスワードを設定します。
パスワードの設定方法は、P11「パスワードを設定する」をお読みください。
(注意)
パスワードロックツールは、同時に 2 台以上の HandyDrive を接続し
お使いになれます。
但し、対象ドライブ選択で誤った HandyDrive にパスワードを
設定する危険を避けるため、パスワード設定時に接続する
HandyDrive は 1 台にしてください。
- HandyDrive を 2 台使用している場合、別々のパスワードを設定できますか。
設定できます。
パスワードは、HandyDrive 内に記憶されるため、異なるパスワードを
設定することができます。
(注意)
HandyDrive ごとに異なるパスワードを設定する場合は
HandyDrive とパスワードの対応を忘れないようにしてください。
- HandyDrive を 2 台接続している時、一方のパスワードの解除ができない
HandyDrive が正しく選択されていない可能性があります。
「対象ドライブ選択」を使用し、他の HandyDrive を指定してください。
解決しない場合は、HandyDrive を 1 台だけ接続し、パスワード解除操作を
行ってください。

■ロックが解除できない。パスワードを忘れた。

- パスワードロックツールを起動してから、HandyDrive を接続したとき、表示が「ドライブが見つかりません」のままとなる。
パスワードロックツールの表示メニューから、「最新の情報に更新」をクリックしてください。
- パソコンのハードディスクを交換したら、パスワードの解除ができなくなった。
パソコンにパスワードロックツールがインストールされていることを確認してください。
- パスワードを忘れた場合、どうすればいいか。
データを読み出すことは、できません。
消去キーを覚えている場合は、データを消去の上、パスワードのない状態に戻すことができます。
(鍵のタイプ 2 の場合)
消去キーも忘れた場合は、HandyDrive を利用する方法はありません。
- パスワードを忘れたが、修理に出せばパスワードを消去できますか。
当社においてパスワードを消去することはできません。
パスワードを忘れた場合は、解除する方法はありません。
消去キーを覚えている場合は、HandyDrive 内の全てのデータを消去後に、パスワードを消去することができます。
詳細は、P.23「ディスクの消去」をお読みください。

■ 設定の変更. パスワードの消去. ディスクの消去.

- 使用しているパスワードロックツールのプログラムバージョンが知る方法は。
パスワードロックツールを起動し、メニューの「ヘルプ」から「バージョン情報」を選択します。
詳細は、P.34「バージョン情報の表示」をお読みください。 w
- V1.0 でパスワードを設定した HandyDrive を、V2.3 のパスワードロックツールで使用できますか。
ロックの解除はできます。
他の機能は、V2.3 において、「消去キーの追加」を実行することによりお使いになれます。
バージョンの異なるパスワードロックツールを併用する場合の制限詳細は、
P.5 「すでにパスワードロックツールV1.0 をお使いの方」をお読みください。
- V2.3 でパスワードを設定した HandyDrive を、V1.0 のパスワードロックツールで使用できますか。
ロックの解除はできます。
バージョンの異なるパスワードロックツールを併用する場合の制限詳細は、
P.5 「すでにパスワードロックツールV1.0 をお使いの方」をお読みください。
- 「消去キーの追加」を実行した時、HandyDrive 内のデータは影響を受けますか。
データに影響ありません。
複数の区画を設定していたり、他のフォーマット形式に変更していても影響はありません。

- パスワードロックツールを、V2.3 からV1.0 へ戻したい。
V2.3 でパスワードを設定した HandyDrive をお使いの場合は、
V2.3 のままお使いになることをおすすめします。

V1.0 に戻す場合は、V2.3 のパスワードロックツールをアンインストールする前に
HandyDrive のパスワードを一旦消去してください。
その後、V2.3 をアンインストールしてください。
- HandyDrive の鍵のタイプを、2 から 1 に戻したい。
鍵のタイプを、2 から 1 に戻す操作は行わないでください。
鍵のタイプ 2 のパスワードを消去の上、パスワードロックV1.0 を使用しパスワードを
再設定した場合、次にV2.3 で使用した場合に正しく使用できない場合があります。
- パスワードを一旦消去した後、再度設定した場合、消去キーはどうなりますか。
消去キーは初期値「ERASE-HANDY」となります。
(注意)
バージョンの異なるパスワードロックツール間で
パスワードの消去や設定操作を行った場合は
消去キーの初期値が正しく設定されない場合があります。
バージョンの異なるパスワードロックツール間では
ロックの解除以外の操作を行わないでください。
- ディスクの消去を途中で中断あるいは中止したい。
ディスクの消去は、中断あるいは中止することはできません。
パソコンの終了、あるいは USB ケーブルの取り外し等で強制的に
中止した場合、HandyDrive が利用できなくなる場合があります。
- フォーマットツールの「出荷時の状態に戻す」と、パスワードロックツールの「ディスクの消去」の違いは。

	フォーマットツール 「出荷時の状態に戻す」	パスワードツール 「ディスクの消去」
パスワード	消去されません。 処理完了後も、使用する ためにはパスワードの 入力が必要です。	消去されます。
処理完了後の HandyDrive の状態	FAT32 にフォーマット済。 処理完了後に即使用 できます。	未フォーマット状態。 ドライブアイコンが表示 されません。 使用するためには、 フォーマットが必要です。